

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市緑区合同庁舎立体	階数	3
建設地	相模原市緑区西橋本5丁目4番7	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	4,928時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2011年11月1日
敷地面積	5,641 m <sup>2</sup>	作成者	㈱ユニバサル設計
建築面積	1,815 m <sup>2</sup>	確認日	2011年11月1日
延床面積	5,311 m <sup>2</sup>	確認者	㈱ユニバサル設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 0.0

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.1

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.8

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.0

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
地域環境に配慮した外観、全照明にLEDを採用、外構の緑化など環境に配慮した計画とした。	
<b>Q1 室内環境</b> 対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 建物の特性上、配線、配管は全て露出しており、メンテナンス及び将来の更新が容易となっている。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 積極的に緑化を行っている。	
<b>LR1 エネルギー</b> 全照明設備をLEDで計画した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 建物の特性上、建築資材が容易に判断でき、解体時に分別が容易に行える。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用しない、また、管理用も含め駐車場を適切に設置している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい